

2020年度
桐朋学園大学
大学院 音楽研究科 音楽専攻
博士後期課程

学生募集要項



Toho Gakuen Graduate School of Music
TOKYO

桐朋学園大学大学院 音楽研究科 音楽専攻 博士後期課程 学生募集要項

目次

アドミッション・ポリシー	1
学生募集要項	1
1. 募集人員	1
2. 試験日	1
3. 試験会場	1
4. 出願資格	2
5. 出願書類	2
6. 出願書類記入上の諸注意	3
7. 出願手続	4
8. 試験実施日程、試験科目及び注意事項	5
9. 実技試験課題	6
10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付	7
11. 入学の条件	7
12. 入学手続について	7
13. 入学金・授業料等について	8
カリキュラムについて	8
カリキュラム・ポリシー	8
学位	9
授業科目及び単位	9
大学院音楽研究科 博士後期課程 教授陣（2019年度－参考）	10
特待生および奨学金制度、学生会館について	10
特待生制度	10
奨学金制度	10
学生会館	11
学生募集要項全般に関する問い合わせ先	11
交通機関案内図	12

個人情報の取扱いについて

出願にあたって記入していただいた、氏名・住所・その他の個人情報は、個人情報保護法に則り、万全の体制で管理いたします。

アドミッション・ポリシー

本学大学院博士後期課程が定める「アドミッション・ポリシー」は以下の通りである。すなわち、以下のことが確認された者に対して、博士後期課程の入学を許可する。

大学院博士後期課程は、専門領域、また広く音楽芸術全般に関する専門的な知識や技能を修得しており、さらに自らの研究課題に基づいて高度な研究を実施するための資質や意欲があり、実践、教育等において広く国際的な視野に立って音楽芸術を深く考究する資質や意欲がある人材を求めている。

学生募集要項

1. 募集人員

専攻	研究領域	募集人員
音楽	ピアノ	3名
	弦楽器	
	声楽	
	作曲	
	音楽学	

※ 標準修業年限は3年

2. 試験日

2020年2月10日（月）・11日（火・祝）

3. 試験会場

桐朋学園大学 調布キャンパス 1号館

（調布市調布ヶ丘1-10-1）

4. 出願資格

出願できる者は、次の各項の一つに該当する者とする。

1. 修士の学位を有する者（2020年3月修士の学位取得見込みの者を含む）。
2. 外国において、大学院修士課程と同等以上と認められる課程を修了した者（2020年3月修了見込みの者を含む）。
3. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（2020年3月までに修士の学位に相当する学位を取得見込みの者を含む）。
4. 文部科学大臣の指定した者。
5. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学院修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認められた者で、本学入学前（2020年4月1日）までに24歳に達する者。

◎ 出願資格 5. によって出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行う。
2019年12月6日（金）午後4時30分までに、本学まで問い合わせること。（P. 11 参照）
なお、入学資格認定審査には、「修士論文に代わるもの」（P. 3 参照）の提出が必要になるので、予め準備しておくこと。

◎ 博士後期課程を志願する者は、指導を希望する教員との「事前相談」が必要となる。指導を希望する教員を決めた上で、2019年12月13日（金）までに、以下の本学ホームページに掲載される WEB フォームから事前相談の申込を行うこと。
<http://www.tohomusic.ac.jp/college/graduate/index.html>



5. 出願書類

出願書類一式：

- 1) 志願票
- 2) 受験曲目票（作曲、音楽学研究領域志願者は提出不要）
- 3) 作曲作品（任意の2作品の楽譜）（作曲研究領域志願者のみ提出）
- 4) 大学院修士課程の修了（又は修了見込）証明書（本学修士課程を修了見込の者は提出不要）
- 5) 大学院修士課程の成績証明書（本学修士課程を修了見込の者は提出不要）
- 6) 修士論文（またはそれに代わるもの） 1部 （写し可）
- 7) 履歴書
- 8) 検定料振込の銀行領収印のある納金票の①票（受験証）
- 9) 受験証返送用封筒（362円分の切手貼付／受取人住所、氏名等明記のこと）
- 10) 出願書類送付用封筒（切手貼付／差出人住所、氏名等明記のこと）

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出すること。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とする。

※以下の項目に該当する場合、事前に本学に連絡すること。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合（2019年12月13日（金）まで）
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合

6. 出願書類記入上の諸注意

- ・提出する書類への記入は楷書とすること。
記載にあたっては、書式に記されている注意事項等を順守すること。

志願票	
楽器略語・コード	「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
生年月日	西暦で年月日を記入する。2020年4月1日現在の年齢を合わせて記入する。
性別	男、女 を○で囲む
本人連絡先等	入学手続書類等の送付先にもなるので、郵便番号、住所、電話番号等を正確に記入する。自宅TEL・携帯TEL・FAX の環境がない場合は「なし」と記入する。 メールアドレスは「@tohomusic.ac.jp」からのEメールを受信できるアドレスを記入する。
出願資格（出身大学院）	出身大学院の学校区分、名称、専攻、修了（修了見込）年月について記入する。 「出願資格」の4.5.により出願する者は、記入不要。
受験希望外国語	英語・独語・仏語・伊語の中から1カ国語を選択し、○で囲む。 ただし、音楽学研究領域志願者は、伊語を選択出来ない。 <u>当日これを変更することはできない。</u>
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさで3ヶ月以内に撮影した背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。

受験曲目票	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
受験曲目	演奏曲目を具体的・詳細に記入する。 パソコン等から出力したものを貼付しても良い。 <u>出願後の受験曲目等の変更は認めない。</u>
伴奏者・共演者氏名	受験曲に伴奏者・共演者が必要な場合は、伴奏者・共演者の氏名を記入する。

修士論文（またはそれに代わるもの）	
修士論文	修士論文が学位取得要件として義務付けられている大学院にあっては、当該大学院に提出した修士論文（写し可）
修士論文に代わるもの	修士論文が学位取得要件と義務付けられていない大学院にあっては、当該大学院に提出した学位審査に係る演奏曲目（プログラム）、および16,000文字以上の研究レポートを提出する。

※上記の論文等が日本語・英語以外の場合は、日本語訳または英語訳をつけること。

履歴書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
学歴	高等学校から最終出身学校まで記入する。
職歴	職歴を記入する。ない場合は空欄でよい。
音楽歴	これまでに師事した先生やコンクール入賞歴等を簡潔に記入する。

受験証返送用封筒

362円分の切手を貼付し、配達先の住所、氏名等を所定の欄に記入する。

出願書類送付用封筒

出願書類一式が「出願書類送付用封筒」に入らない場合は、各自で用意した封筒を使用して送付する。

7. 出願手続

◆「出願書類一式」の提出：

前記5.1)～9)を「出願書類送付用封筒」に封入し、指定期日まで下記あてに速達で郵送のこと。

受付期間：2020年 1月6日（月）～ 1月17日（金） 期間内必着（郵送に限る）

[宛先] 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 桐朋学園大学 事務局入試係

◆入学検定料の納入：

出願書類の提出に先立って、出願者は「検定料納金票」を切り離さず、本学指定の銀行（振込通知書・振込依頼書に記載）へ当該金額（30,000円）を振り込むこと。

その際「①～③」に銀行収納印の押印を受け「③～④」は銀行保管、「②」（領収証）は出願者が保存し「①」（入学試験受験証）のみを他の出願書類と共に提出すること。

◎注 受験を取り消した場合、入学検定料は返還しない。

8. 試験実施日程、試験科目及び注意事項

1) 選抜方法

次の試験科目の試験結果、および提出された書類（修士論文、またはそれに代わるもの）の内容を総合的に判断して選抜する。

2) 試験実施日程及び試験科目

◇ピアノ、弦楽器、声楽研究領域

2020年2月10日（月）	2020年2月11日（火・祝）
実技試験	外国語試験（時間：120分） 研究計画に関する小論文（時間：120分） 口述試験

※ 実技試験の集合時間は、本学から事前に郵送で通知する。

ただし、実施日の3日前までに連絡のない場合は、本学まで問い合わせること。

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 実技試験	試験課題は「9. 実技試験課題」を参照。 <u>伴奏者・共演者は、各自で同伴すること。</u>
2. 外国語試験	試験時間 120分／英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類（電子辞書、携帯電話等）の持ち込みは不可。
3. 研究計画に関する小論文	試験時間 120分／博士後期課程における研究計画について、以下の4つの観点から論述する。 (1) 修士論文（または修士論文に代わるもの）の概要 (2) 博士論文のテーマ（目的、範囲、方法など） (3) 博士論文のテーマに関する先行研究の概要 (4) 3年間の研究計画
4. 口述試験	これまでの研究内容、および博士後期課程における研究計画の内容等についての試問。これに加えて、専門領域に関する知識を問う。

◇作曲研究領域

2020年2月10日（月）	2020年2月11日（火・祝）
提出作品に関する口述試験	外国語試験（時間：120分） 研究計画に関する小論文（時間：120分） 口述試験

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 提出作品に関する口述試験	提出された作曲作品についての試問。

2. 外国語試験	試験時間 120 分／英語・独語・仏語・伊語から 1 カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類（電子辞書、携帯電話等）の持ち込みは不可。
3. 研究計画に関する小論文	試験時間 120 分／博士後期課程における研究計画について、以下の 4 つの観点から論述する。 (1) 修士論文（または修士論文に代わるもの）の概要 (2) 博士論文のテーマ（目的、範囲、方法など） (3) 博士論文のテーマに関する先行研究の概要 (4) 3 年間の研究計画
4. 口述試験	これまでの研究内容、および博士後期課程における研究計画の内容等についての試問。これに加えて、専門領域に関する知識を問う。

◇音楽学研究領域

2020 年 2 月 10 日（月）	2020 年 2 月 11 日（火・祝）
実施しない	外国語試験（時間：120 分） 研究計画に関する小論文（時間：120 分） 口述試験

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 外国語試験	試験時間 120 分／英語・独語・仏語から 1 カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類（電子辞書、携帯電話等）の持ち込みは不可。
2. 研究計画に関する小論文	試験時間 120 分／博士後期課程における研究計画について、以下の 4 つの観点から論述する。 (1) 修士論文（または修士論文に代わるもの）の概要 (2) 博士論文のテーマ（目的、範囲、方法など） (3) 博士論文のテーマに関する先行研究の概要 (4) 3 年間の研究計画
3. 口述試験	これまでの研究内容、および博士後期課程における研究計画の内容等についての試問。これに加えて、専門領域に関する知識を問う。

※ 志願票は、各コース共通のため「伊語」の記載があるが、音楽学研究領域志願者は選択出来ない。

9. 実技試験課題

<ピアノ>

ピアノ独奏曲により、60 分程度のリサイタルプログラムを用意すること。

（アンサンブルを含むことも可）

- * ピアノ独奏曲は、暗譜で演奏すること。
- * 出版されている作品に限る。
- * 繰り返しは自由。
- * 曲の抜粋は認めない。
- * 内部奏法等を含んだ作品は除く。
- * 時間の都合により、一部省略させることがある。

<弦楽器>

自由曲により、60分程度のリサイタルプログラムを用意すること。

- *暗譜で演奏すること。
- *伴奏者は同伴すること。
- *演奏箇所は当日指定する。

<声楽>

オペラ・アリア、オラトリオ・アリア、コンサート・アリア、歌曲の中から任意の20曲（A群10曲／B群10曲）を提出し、試験5日前に通知された指定曲群A又はBを演奏する。

- *暗譜で演奏すること。
- *伴奏者は同伴すること。
- *アリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調、言語に関してはこの限りではない。
- *歌曲は原語で、移調可。
- *曲名は原語で記入すること。
- *前奏・間奏・後奏は省略可。

10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付

1) 発表日

2020年2月12日(水) 午後4時予定

2) 発表方法

合格者の「受付番号」を本学ホームページで発表する。

3) 書類の交付

合格者には、入学手続書類（合格者心得）を同日に速達で送付する。

11. 入学の条件

- I. 指定の期日までに所定の入学手続きを完了していること。
- II. 出願時に「2020年3月修了見込み」であった者は、修士課程修了を認定されていること。
なお、本学修士課程修了見込以外の受験者は、2020年3月末日までに、修了証書のコピーを本学に郵送すること。

12. 入学手続について

- 1) 入学手続の方法：書類の提出は郵送のみとする。
- 2) 入学手続の期限：2020年2月22日（土）～2月28日（金）必着
- 3) 提出書類等（予定）：
 1. 「入学手続納付金払込用紙」の副票
 2. 誓約書（本学が指定する用紙）
 3. 身元保証書（本学が指定する用紙）
 4. 学籍台帳（本学が指定する用紙）

5. 写真（タテ4 cm×ヨコ3 cm）
6. 住民票（本人のみ記載のもの）または住民票記載事項証明書1通

13. 入学金・授業料等について

内容	金額	備考
1. 入学金	350,000円	入学時のみ ただし、本学を卒業した者、本学大学院を修了した者及び修了見込みの者、桐朋学園大学院大学を修了した者及び修了見込みの者は免除する。
2. 授業料	1,200,000円	年額、半期毎に納入する
3. 施設設備費	150,000円	年額、半期毎に納入する
4. 運営維持費	100,000円	年額、半期毎に納入する

（注）入学手続き時には、1. と 2.3.4. の半額（合計 1,075,000 円 又は 725,000 円）を納入する。

カリキュラムについて

カリキュラム・ポリシー

博士後期課程のカリキュラム・ポリシーを以下のように定める。

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能を持って研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後には高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

上記ポリシーの実現のために、ピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学の5つの領域を置き、各自の専門とする領域について学術研究を行う。年次ごとの研究指導のもとで作成する研究計画書に基づいて研究を計画的に実施するとともに、その成果を逐次まとめ、発表する。音楽作品、演奏様式等についての知識を深めるとともに、音楽研究に必要な様々な方法論を取得し、自らの研究の礎とする。また、討論や研究発表などを通じて積極的に問題提起を行い、研究成果のプレゼンテーションの技術も高めていく。最終的には、演奏を通じた実践的研究と学術的研究が一体化した統合的な研究を目指し、その成果として研究演奏及び博士論文の執筆と公表を義務づける。

学位

・修了認定者には、博士（音楽）の学位を授与する。

授業科目及び単位

科目区分	授業科目の名称	年次	単位数		備考
			必修	選択	
専門科目	(博士研究指導)	1～3年次/通年	—		合計8単位必修
	領域特別研究Ⅰ(a)	1年次/前期	1		
	領域特別研究Ⅰ(b)	1年次/後期	1		
	領域特別研究Ⅱ(a)	2年次/前期	1		
	領域特別研究Ⅱ(b)	2年次/後期	1		
	博士共同研究Ⅰ(a)	1年次/前期	1		
	博士共同研究Ⅰ(b)	1年次/後期	1		
	博士共同研究Ⅱ(a)	2年次/前期	1		
博士共同研究Ⅱ(b)	2年次/後期	1			
総合科目	博士総合演習A(a)	1・2年次/前期		1	2科目2単位以上 選択
	博士総合演習A(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習B(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習B(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習C(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習C(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習D(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習D(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習〔音楽文化研究〕(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習〔音楽文化研究〕(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習〔ソルフェージュ研究〕(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習〔ソルフェージュ研究〕(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習〔楽書原典研究〕(a)	1・2年次/前期		1	
	博士総合演習〔楽書原典研究〕(b)	1・2年次/後期		1	
	博士総合演習〔音楽資料研究〕	1年次/前期		1	

〔修了要件及び履修方法〕

博士後期課程に3年以上在籍し、教育課程表に定める専門科目を8単位、総合科目を2単位以上、合わせて10単位以上修得し、博士論文及び研究演奏の審査及び最終試験に合格すること。

大学院音楽研究科 博士後期課程 教授陣 (2019年度—参考)

専 門	氏 名
ピアノ	新井 博江、川島 伸達、小森谷 泉、齋木 隆、清水 和音、中井 恒仁、練木 繁夫、 広瀬 康、村上 弦一郎、廻 由美子、朴 久玲、吉村 真代、川村 文雄、野島 稔、三上 桂子
弦楽器	景山 誠治、加藤 知子、久保田 巧、豊田 弓乃、堀 正文、毛利 伯郎、神谷 美千子、 長谷川 陽子、市川 雅典
声楽	大島 幾雄、大橋 ゆり、谷 茂樹、腰越 満美、宮本 益光
作曲理論	金子 仁美、鈴木 輝昭、土田 英介、法倉 雅紀
音楽学	塚田 健一、西原 稔、沼野 雄司、安田 和信
ソルフェージュ	齋木 隆、鈴木 しのぶ

※ 各教員の業績等については、本学ホームページに掲載している。

特待生および奨学金制度、学生会館について

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、実技等の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・授業料・運営維持費などを一部または全額免除する。

奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な者を対象に、奨学金制度を設けている。

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心をもちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(9月末)給付する。原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

◎宗次徳二桐朋学園大学大学院特待奨学金

入学試験の成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付することをもって、次世代の音楽界を担うことが期待される大学院生の教育を支援することを目的としている。

対象者：修士課程1名、博士後期課程1名

給付額：年間120万円 (入学から修了〔標準修了年限〕までとする)

◎ 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

次世代の音楽界を担うことが期待される桐朋学園大学大学院、桐朋学園大学、同大学ディプロマ・コース、桐朋学園大学院大学のピアノを専攻する学生に留学支援することを目的としている。

支給人数：原則2名まで

給付額：1人500万円（ただし、1度限り）

学生会館

自宅通学が困難な女子学生のために、調布駅より徒歩約15分の場所に学生会館を用意している。＜問い合わせ：学生支援課＞

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

学生募集要項全般に関する問い合わせ先

桐朋学園大学 事務局 教務課（入試係）

Tel : 03-3307-4122 E-mail : exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間（日・祭日は除く） 月～土：午前8時30分～午後4時30分

